

# 名古屋丸の内ロータリークラブ Nagoya Marunouchi Rotary Club Weekly Report

例会会場：名古屋クレストンホテル  
(TEL: 052-264-8000)

例会曜日：木曜日 12時30分  
クラブ会報広報委員長：岩田 宏  
HP: <http://nagoya-marunouchi-rc.org/>

2024-25年度 R.I.テーマ  
会長：ステファニーA. アーテック



Rotary  
Club of Nagoya Marunouchi

承認  
会長  
幹事  
事務局

1995.03.28  
加藤 豊  
田中 如似  
名古屋クレストンホテル  
1007号  
名古屋市中区栄 3-29-1

TEL 052-263-1324  
FAX 052-263-0730  
E-mail [seinan1@fancy.ocn.ne.jp](mailto:seinan1@fancy.ocn.ne.jp)

加藤 豊 会長 年度目標：30周年を祝おう！ そして新しい時代を迎えるための楽しい体験を積もう！

第1283回 例会 No. 24 令和7年3月6日 (木)

- ロータリーソング 「君が代」「奉仕の理想」
- 出席報告 会員44名中20名出席
- 出席率 48.78% 出席計算人数41名
- スピーカー ガバナー補佐 藤田守彦さん  
国際奉仕委員長 高坂昌志さん

## 会長挨拶

加藤 豊



こんにちは。先日のIMにはたくさんの方に参加いただきまして、誠にありがとうございました。

藤田さんの当初の構想では、フードロスをなくして着席というお話でしたが、当初の予想よりも遥かに大勢の方がご出席をいただきまして、おかげで立食になって大変な盛会でございました。

普段例会にあまり出席されない方も、当日はいろいろお手伝いをいただきまして、誠にありがとうございます。ただ反省点としましては、会場の一部で音響効果が悪く、特に後ろの方ではディスカッションの声などが聞こえなかったもので、今後、観光ホテルで何か企画をするときにその点は考慮に入れたいと思います。

本日は高坂さんから国際奉仕委員会報告としてカンボジア視察のお話を予定しております。高坂さん何卒よろしくお願い致します。

さて先週私も医療関係者にとってとんでもないニュースが飛び込んでまいりました。自民公明、公明、維新の3党合意で、医療費を4兆円削減すると合意した、というものです。日本の医療費は現在46兆円ですが、インフレと高齢化社会と高額医薬品の普及で、日本の病院はどれも青息吐息です。薬価もあまりにも安くしてしまって、一部の医薬品はメーカーが生産を中止し、今では手に入らない状況が続いております。

このような中で、医療費を10%も削減したら、何が起るか想像もつきません。ちなみに以前、小泉改革というのがありまして、そのときには1兆円少々の医療費削減が行われました。その結果何が起きたかという、皆さん覚えておられるかもしれませんが、妊婦の方が救急車でたらい回しにあって、亡くなってしまったというような事件が起りました。また政府は高額療養費の自己負担を増やして、5000億円の削減を図っておりますが、化学療法を受けて

おられるがん患者さんなどから猛烈な反発を受けております。

少し話が横道にそれますが、30年前私が米国に滞在していたときのお話をします。同じ研究室で働いていたルイスおばさんのお母さんが体調を崩して、血液透析をすることになりました。当時から米国の医療費は大変高価だということを知っておりましたので、「医療費は大丈夫？」と聞きました。ルイスおばさんは「保険がカバーしてくれるから大丈夫」と言っておりました。しばらくしてお母さんは亡くなりましたが、その数ヶ月後、領収書の束を握りしめたルイスおばさんが電話越しに、保険会社と怒鳴り合いをしているのを目撃しました。アメリカの保険会社は保険金を支払ってくれないことで有名で、もし払ってもらえないと患者さんは医療費を全額自己負担しなければなりません。

先日、ユナイテッドヘルスという米国最大手の保険会社の役員が、銃で射殺されるという事件が起りました。それを聞いた国民は皆、拍手喝采したそうで、いかに保険会社が国民から嫌われているかわかります。

医療費削減の果てに、将来日本もアメリカみたいにならないといいがなあ、と自分の体験からそう思っております。さて、来週はいよいよ30周年記念式典等があります。田島さんと実行委員会の皆様、大変ご苦労をおかけしますが、準備のほど何卒よろしくお願い致します。それでは本日もよろしくお願い致します。

3月の祝福			
誕生日		結婚記念日	
5日	成田 勝彦	9日	八木 宏樹
9日	長谷川さんご夫人	18日	安江 英雄
15日	梶谷 武司	18日	小野 素尊
17日	有沢さんご主人	19日	高坂 昌志
19日	小野さんご夫人	23日	小菅 誠
		24日	森田 正樹

## カンボジア事業 有志寄付

3月6日合計 2,000円

1月30日からの合計 59,000円

## ニコBOX

●本日は国際奉仕委員会卓話です。カンボジアから帰国された国際奉仕委員長 高坂さんと藤田さんよりご報告いただきます。よろしくお願ひいたします。

加藤会長、田中幹事、藤田、松尾、後藤、堀江亮介、黒田、杉江、成田、岩田、恵利、山崎彰子、小野、石井水野、堀江俊通、西川（敬称略）

高坂さん 本日はカンボジア報告です。宜しくお願いします。

長谷川さん IM が無事終わりました。お疲れさまでした。まだ、報告書の作成等が残っています。宜しくお願いします。

田島さん 来週は30周年記念式典です。皆様のご協力をよろしくお願ひいたします

本日合計 43,000 円

## 米山功労者表彰

米山記念奨学委員長 古川 進  
米山功労者となられた恵利有司さんに、記念の表彰状を  
加藤会長より伝達いたしました。



国際奉仕委員長 高坂昌志

した。この事業も創立 10 周年の記念事業として始まり、もう 20 年目となります。当時歯科医の会員さんで河合さんという方が、この方のご趣味はボランティア活動と名簿にも記載されていましたが、個人でこのカンポットの小中学校で往診されていたのを、クラブの事業としないかとの提案を受け、矢野さんのお父さんである矢野雄三さんと、水野さんご夫妻の 3 名が現地を視察され、とりあえずは支援してみようということになり、それが現在まで、皆様から賛否両論色々あとありますが続いてきました。今年度は目の検査にも取り組みましたので、高坂さんのご報告をお聴きください。



平成 25 年 2 月 23 日から 25 日の日程でカンボジアにボランティア活動を行いましたのでご報告させていただきます。今回のカンボジア訪問の目的は、

1. 眼科検診および眼鏡の作成 昨年訪問したときに 1 人も眼鏡をかけている子供たちがいなかったため、本当に見えているのか疑問に思い、検診の必要性を感じたことから、支援を行いました。
2. 学用品などの提供 家庭の負担が大きい学用品の購入を支援するためにノートなどの提供を行いました。
3. カンボジア大使館への訪問 我々のカンボジア支援が意味のあるものかどうかのご意見をお伺いするために、カンボジア大使との対面の機会をいただきました。

以上 3 点を目標にしました。まず、カンボジアの現状についてお話しします。カンボジアは、近年急速な経済成長を遂げましたが、農村部と都市部の経済格差が大きく、人口の 16.6%は貧困ラインで生活しています。特に農村部ではインフラ整備が遅れ、安全な水道の普及率が都市部に比べて低い状況です。

また、2024 年の最低賃金は月額 204 ドル(約 3 万円程度)と低く、雇用の不安定さが課題です。次にカンボジアの教育環境についてお話しします。カンボジアの義務教育は日本と同じく 6 歳から始まる小学校が 6 年間、中学校が 3 年間の計 9 年間です。

この状況から、農村部の小・中学校に本や文房具を届けることで、教育の継続性を高めることができるのではないかと考えました。見ていただくとわかるように子供たちはみんな裸足です。制服と思われる服装も、中国からもらったお古の制服だそうです。

日本からカンボジアまでの直行便がないため、タイ国経由で向かうことになりました。2 月 23 日にセントレアを出発し、タイ国際空港で乗り継ぎ、カンボジアのプノンベン空港に至る距離約 5000 キロ乗継含めて約 9 時間半の旅でした。プノンベンから目的地のカンポットの小中学校までは約 140 キロ、3 時間ほどかかりました。行く途中は非常にのどかな土地で、よく見ると牛がいます。乾季ですので牛さん

## 幹事報告

田中 如以

皆様こんにちは。幹事報告をさせていただきます。まず、2025-26 年度の地区委員会出向者が決まりました。ロータリー奉仕委員会副委員長に藤田守彦さん、グローバル奨学生・平和フェロー委員会副委員長に田中如以、米山記念奨学委員会副委員長に「武山卓史さん、青少年奉仕委員会委員に黒田覇太郎さんの 4 名です。



2 月 24 日から、高坂さんと藤田さんがカンボジア事業で現地に行って活動してくださいました。のちほど、ご報告をいただきます。

当クラブ例会場の名古屋クレストンホテルが 7 月 31 日で閉館されることが決定いたしました。例会場と事務局は引越となります。その節は皆様のお手伝いを宜しくお願いします。

## 委員会卓話

「カンボジア事業報告」

藤田 守彦

2 月 20 日の IM は長谷川実行委員長の下、無事終了いたしました。誠にありがとうございました。終わって少しホッとしているところすぐにカンボジアへの訪問となりま



もやせ細っています。遺跡で有名なアンコールワットはシュリムアップというところにある、ちょうどプノンペンを挟んで反対のところ。飛行機で約1時間のところ。ロータリーの看板があるこの部屋を借りて眼科検診をすることにして、これは実際やっている眼科検診の様です。

### 眼科検診の様

児童全員の検眼を行うのは時間的に無理があるため、事前に学校にお願いし視力低下の子供をピックアップしてもらいました。眼鏡は大手の眼鏡店から無償提供が約束されており何個でも作成可能でしたが、視力低下を訴えた子供は7名と少人数でした。



児童全員の検眼を行うのは時間的に無理があるため、事前に学校にお願いし視力低下の子供をピックアップしてもらいました。眼鏡は大手の眼鏡店から無償提供が約束されており何個でも作成可能でしたが、視力低下を訴えた子供は7名と少人数でした。その7名の合同検診の結果は、2名に視力低下があっただけであと5名の子は正常でした。そのデータを持ち帰って眼鏡を日本で作って返すことしております。

視力の悪かった2人のうちの1人は、左目に眼底異常もあって、視力回復が困難でした。その原因は何かというと陳旧性網膜剥離と診断はできたのですが、かなり古い病変だったこと、今のカンボジアの医療体制ではそれを治すというのが難しい状況です。診断は自分が行けば出来るけれど、それを治療に持っていくというのは、なかなかハードルが高いというのが所感でした。

### 購入した学用品、お菓子など

子供たちのために購入したノートや鉛筆、スクールバッグにお菓子類です。



僕らが検診している間に藤田さんが子供たちにノートやスクールバッグを手渡ししてくれました。

僕らの診察も必要ではあったと思いますが、手渡しすると子供たちは本当に嬉しそうな顔してくれて、去年もそう思いましたが、純粋に喜んでくれているこの子たちの目を見ていると、本当にこの事業をやってよかったなと思いました。



### 建物の修復報告

同じ小中学校の敷地には以前当クラブの募金により建設した建物がありますが、経年劣化が進んだため今回の募金で改修しました。



これはまた違う建物ですが、これも何年か前にこのクラブの寄付によって作られましたが、かなり経年劣化が進んでいたため、今年の皆さんからいただいた寄付のお金で改修工事が進みました。

検診後の懇親会では、子供たちの家庭から持ってきてくれた果物が並べられて用意されていて、ココナッツジュースがとてもあまくて美味しかったです。最後に先生方と記念写真を撮って、プノンペンに戻りました。



3時間の道のりを戻り、次の日は、第二の目的である在カンボジア日本大使館に表敬訪問をしました。在カンボジア日本大使館は1953年に両国の外交関係が樹立されたのち、カンボジアの王宮に近い場所に設置されています。

### 在カンボジア日本大使館にて



これは今赴任されている植野篤志さんという大使の方でこの方といろんなお話を1時間ぐらいたしていただき、ボランティアの活動報告と、それから20年の歴史、その意義についてお話しして彼の意見を伺いました。20年前からの当クラブの支援はとても大切な財産であり、どんどんロータリークラブに対しても誇れる継続事業と考えます。最後になりますが今回の事業活動にあたり、名古屋丸の内ロータリークラブのメンバーの皆様からいただいた寄付金で無事完了できたことを、改めてここで感謝いたします。次年度も私が国際奉仕委員長を務めさせていただくことになりましたが、その後は興味を持たれた方に引き継ぎたいと考えていますのでご興味のある方はよろしくお願いたします。